

1回の採血で

膵臓がんを含む 複数のがんの可能性を評価

アミノインデックス®がんリスクスクリーニング検査 (AICS®)

◇膵臓がん検診の現状と課題

早期の膵臓癌に
特徴的な症状はない※1

超音波検査では体形や状態、部位
によって見えにくい場合もある※1

腫瘍マーカーでは必ずしも早期に
膵臓がんを発見できるわけではない※1

ステージⅢ以降の
5年生存率は5%以下※2

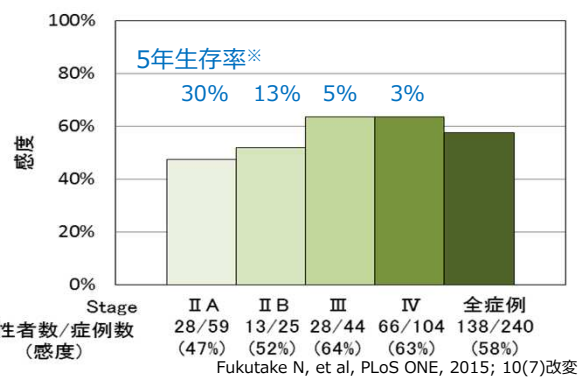
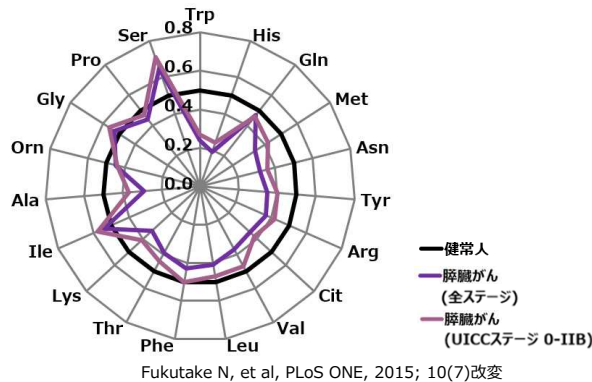
※1 国立がん研究センターがん情報サービスHP

※2 Egawa S et al. Japan Pancreatic Cancer Registry; 30th Year Anniversary. Pancreas. 2012; 41:985-92.

がんのリスクスクリーニング検査を活用し、医師と相談のうえ精密検査を受診することで、がんの早期発見・早期治療につながります。

◇膵臓がん患者のアミノ酸パターン

◇各ステージでのAICS(膵臓)の感度



早期のステージ*から
アミノ酸パターンが変化

*UICCステージ 0 - II B

ステージ II Aでも
47%の感度

◇検査の対象となる「がん」の種類・検査前の注意事項

男性(5種類)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん
女性(6種類)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮・卵巣がん
対象年齢	○胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん：25~90歳 ○前立腺がん：40~90歳 ○子宮・卵巣がん：20~80歳

※AICS®は上記年齢の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外の結果は報告されますが、評価対象外となります。

※検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者（治療中を含む）の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、数値に影響が出ますので、検査は受けられません。

※子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性について評価することはできませんが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。

食事

検査前8時間は
水以外は



検査前8時間以内に、水以外（食事、サプリメント等）は摂らないでください。

運動

当日朝は



正しい検査結果を得るために、検査当日朝の運動はお控えください。

お薬

事前に相談を



薬剤の検査への影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医にご相談の上、その指示に従ってください。

○この検査は、がんである可能性を評価する検査で、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。

ランクAでもがんでないとは言いきれません。ランクBやCであっても必ずがんであるということではありません。

○この検査は、採血を行った時の、がんである可能性を評価する検査です。生涯に渡ってのリスクを予測するものではありません。AICS®は、その他の検査結果とともに総合的に判断されるものです。

お問い合わせ

TEL :